

暖かな季節になったからと言って窓やドアを開け放しにしないように

夏が近づいて、ホルトン郡、特にバーリントンでは家宅侵入強盗が増加している。ホルトン郡警察はこの種の、機会を狙っている犯罪による被害を防ぐための、以下のような大切なガイドラインを守るよう住民の皆さんに勧めている。

- 夕刻になったらパティオドアやスクリーンを含む窓やドアを閉めて、鍵をかけよう。
- 昼間庭仕事をする場合、ガレージのドア、ないしは使っていない、または自分から見えないドアは閉めて施錠しよう。
- 多額の現金や貴重な宝石などは、安全で人に分からない場所にしまっておこう。
- 代々伝わる大切なものなどは、貸し金庫に預けよう。
- 新聞や郵便が取り込んでないなど、家に人がいないことがはっきりと分かることの無いようにしよう。
- 家にある高価な電気器具の製造元、モデル番号、製造番号などは常に最新にしておこう。
- 特に車の鍵などの貴重品は外から見えやすいところに置かないこと。

さらに詳しい防犯に関するヒントについては、郡警察のウェブサイト www.haltonpolice.ca を参照されたい。安全の確保に関するヒントはホームページのCommunity Policingの見出しをクリックして開くコンテンツの中にある。

インターネットを使用していない人はホルトン郡内の各分署にいる Community Support

Officer と連絡を取られたい。

郡警察は住民の皆さんに、不審な人物ないしは車を見つけるよう努めることをお願いする。

どんなことでもこの種の事件に関わる、怪しいと感じることを見かけたら、警察(電話(905) 878-5511)に通報されたい。なお犯行が行われているなど緊急な場合は 911 通報をされたい。

JSS説明

季節の如何に関わらず、どの地区でも多発している犯罪の一つは、記事が取り上げている家宅侵入ないしは強盗事件だ。

年々減少傾向にあるとはいえ2008年のトロント地区に関する統計では、警察に通報された事件が戸建て住宅と集合住宅をあわせて年間で約 9500 件、前年に較べてかなり減少したと言うが、依然として多発と言ってよい状況だ。単純に割り算をしても、市内で一日当たり 26 件以上も起きている計算になる。さらに犯人の検挙率は極めて低く、毎年 20%内外である。

犯人たちは犯行の機会を待っており、手抜かりをみざとく見つけ、犯行に及ぶ。逆に言えば、しっかり戸締りした、ないしは隙のない家は狙われにくいともいえる。さらに言うと、被害を受けた家には、防止に関わる手抜かりがある場合が多いというのが警察の見方だ。

記事に示されている注意事項はその一部であるが、今一度自身の日常をチェックしておくことで被害をかなりの程度、未然に防げそうだ。